

H-リフティングドリル

【禁忌・禁止】

1. 歯科診療及び歯科治療以外に使用しないこと。
2. 本品の材質に対するアレルギーを有する患者には適用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状：

製品名	外観
リフティングドリル (表示径 2.5mm、3.0mm、 3.25mm、3.5mm、 4.0mm、4.5mm、5.0mm)	
ハンドル	

材質：ステンレス鋼

【使用目的又は効果】

本品は、歯科用インプラントの外科手術に用いる器具である。手動式で、再使用可能である。

【使用方法等】

- (1) リフティングドリルをハンドルに装着し、ツイストドリルにより形成された上顎の骨孔に挿入して回転させながら押し上げ、上顎洞粘膜を剥離させる。
- (2) 骨孔に骨補填材等を填入して押し込み、上顎洞粘膜を挙上させる。

《使用方法に関連する使用上の注意》

- (1) 使用前に、必ず異常がないことを確認すること。
- (2) ストッパーを取り付け、深度を調整しながら使用すること。
- (3) 上顎洞粘膜にダメージを与えることがないよう、十分に気を付けて本品を使用すること。
- (4) ドリルに明らかに摩耗が認められた場合はドリルを交換すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本品を使用している間は、常に患者の状況を観察し、異常を認めた場合は、直ちに手術を中止し、適切な処置を取り患者の安全を確保すること。
- (2) 術前に行った正確な診査・診断に基づいた顎骨、その他のパラメーターにより、使用部位に適応したドリルを選択すること。

2. 一般的注意

- (1) 本品は未滅菌にて供給されるため、使用前に必ず滅菌を行うこ

と。

- (2) 滅菌は、加熱滅菌（オートクレーブ滅菌等）を行う。
滅菌条件は飽和蒸気中 121℃・20 分が推奨される。操作方法は加熱滅菌器製造者の指示に従うこと。
- (3) 高温での滅菌は、作動部の硬度を減じ、耐用年数を短くする恐れがあるので行わないこと。
- (4) 加熱滅菌後の未乾燥保管は避け、使用直前（手術前日もしくは当日）に滅菌すること。
- (5) 滅菌処理前には器具の洗浄、消毒を行うこと。
- (6) 微生物汚染による患者感染を防止するため、使用後は直ちに、洗浄、消毒し保管すること。
- (7) 超音波洗浄を行う場合は、器具の接触を避けて十分に間隔をあけるか、1 本ずつガーゼ等でくみ洗浄すること。
- (8) 器具の損傷を防ぐため、洗浄および消毒処理中の器具同士の接触に気をつけること。
- (9) 洗浄、消毒処理後は水で完全にすすぎ、十分乾燥のうえ保管すること。
- (10) 汚染された器具を取扱う際は、防護手袋を使用するなど、二次汚染に注意すること。
- (11) 錆防止のため、耐食性の洗浄剤及び消毒剤を使用すること。
各器具の洗浄剤及び消毒剤の適性、使用方法、使用時間等の洗浄方法は、説明書を確認すること。
- (12) 本品はトレイごと加熱滅菌ができる。変形の恐れがあるため滅菌器の底に直に置かないこと。（必ず、ステンレスかごを使用するか、又は布・滅菌バック等で覆って滅菌すること。）
- (13) 本品を落下させるなど強い衝撃を与えない、また乱暴に使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- (1) 器具は使用後直ちに洗浄・消毒し、十分に乾燥の上、衛生面が十分保たれた容器に保管すること。
- (2) 滅菌後の未乾燥保管は劣化の原因になるので、避けること。

使用期間

本品は使用毎に消耗・摩耗されるため、本品の耐用期間は、各製品・骨質・使用方法等により異なる。

** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ジンヴィ・ジャパン合同会社

東京都新宿区市谷本村町 1-1 住友市ヶ谷ビル 2F

TEL：03-4333-9900

製造業者：OSUNG MND CO., LTD. (大韓民国)